

液晶ディスプレイ

PTFBFH-22W

OSD 操作マニュアル

本書をお読みいただく前に

本書には液晶ディスプレイの設定に必要な操作方法が記載されています。
本書をお読みいただく前に、製品に同梱されているユーザズガイドに従って、液晶ディスプレイを設置してください。

目次.....	2
1. OSDの概要と基本操作.....	3
OSD メニューの概要	3
各ボタンの機能	4
基本的な操作方法.....	5
2. 設定項目	7
輝度.....	7
画像調節.....	8
色設定	9
OSD 設定	10
リセット	11
その他	12
3. 便利なダイレクトキー機能	13
4. 用語集	14

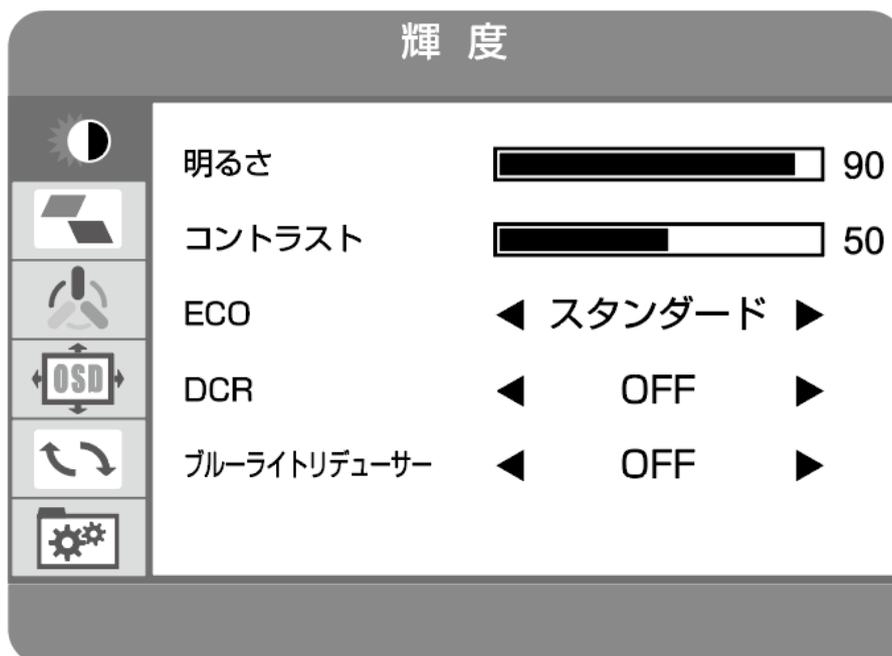
1. OSDの概要と基本操作

OSD メニューの概要

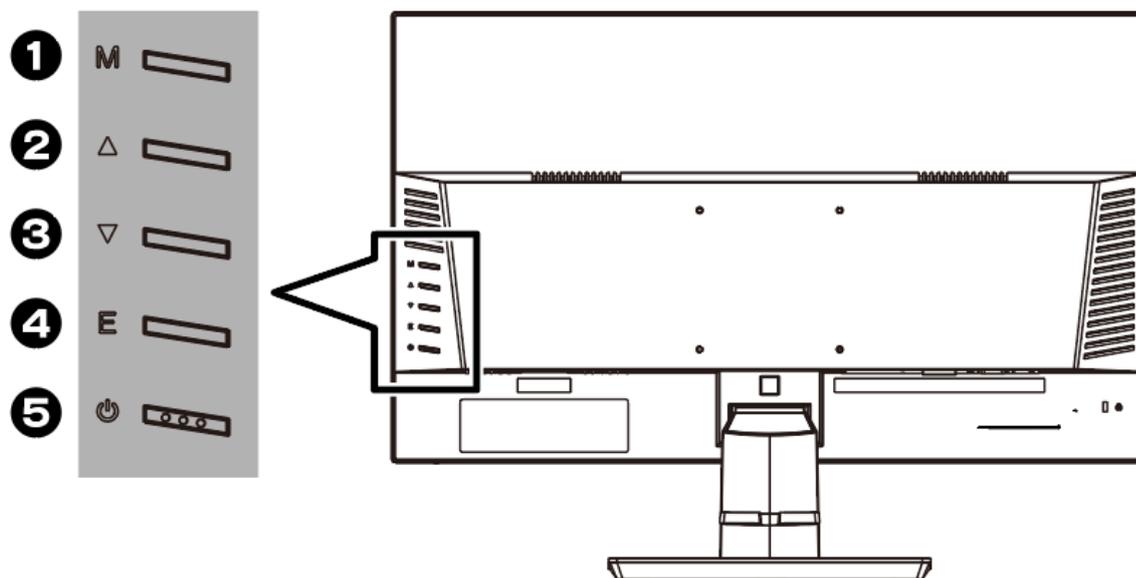
OSD メニューでは液晶ディスプレイの画面表示を細かく調整することができます。

OSD メニューを起動すると、設定可能な項目が一覧で表示されます。

※ 選択中の項目は赤色で表示されます。



各ボタンの機能



液晶ディスプレイ背面

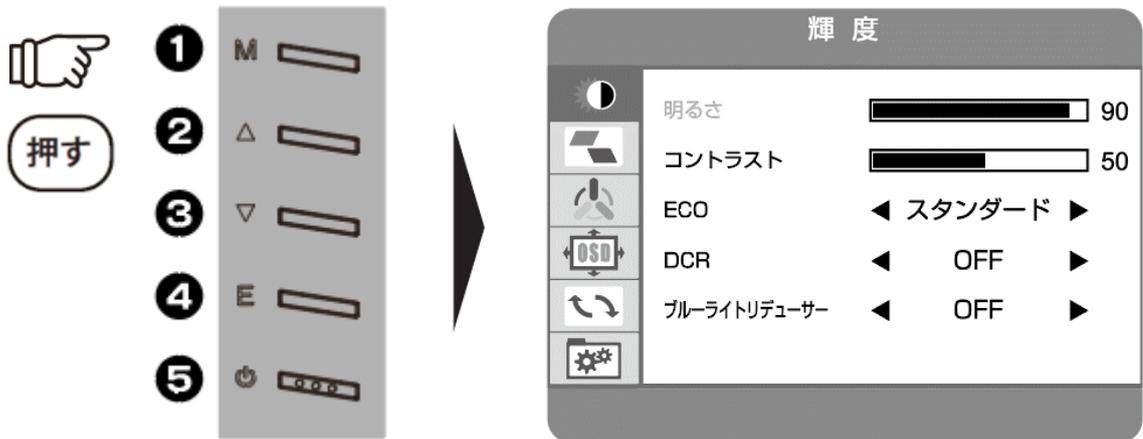
ボタン操作

本体背面のボタンは OSD メニュー操作の他、利用頻度の高い機能のショートカット（ダイレクトキー）として機能します。詳細は「[3. 便利なダイレクトキー機能](#)」をご覧ください。

①	M ボタン (Menu)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決定（設定値の変更を確定）／実行 ・ OSD メニューの起動
②	△ 上ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動（OSD メニュー表示時） ・ ダイレクトキー機能
③	▽ 下ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動（OSD メニュー表示時） ・ ダイレクトキー機能
④	E ボタン (Exit)	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャンセル（OSD メニュー表示時） ・ OSD メニューの終了
⑤	⏻ 電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電源の入切

基本的な操作方法

- ① M ボタンを押すと、画面に OSD メニューが表示されます。



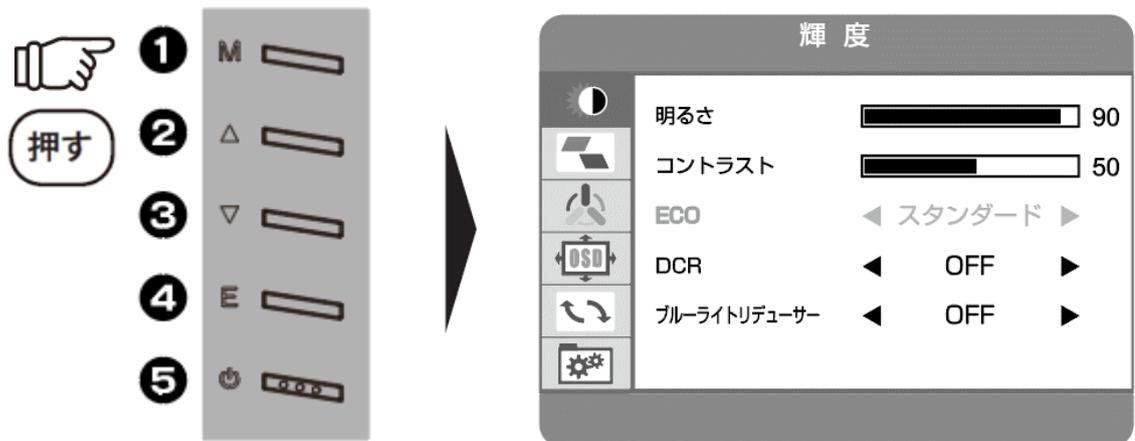
※ 選択中の項目は赤色で表示されます。

※ 選択・設定できない項目はグレーで表示されます。

- ② Δ ▽ ボタンを操作して、調整したい項目まで移動します。



- ③ M ボタンを押すと設定値が変更できるようになります。



- ④   ボタンを操作すると設定値が変更されます。
- ⑤ M ボタンを押して確定します。
- ⑥ E ボタンを複数回押して OSD メニューを終了します。

2. 設定項目

輝度

画面の明るさやコントラストなどを調整できるメニューです。

項目名	説明	設定値
明るさ	画面の明るさを調整します。	0 ~ 100
コントラスト	画面のコントラストを調整します。	0 ~ 100
ECO	ご使用の用途に適した画面設定へ切り替えできます。 ※ スタンダード以外を選択すると、[明るさ]、[コントラスト]、[ブルーライトリデューサー]は変更できません。	スタンダード テキスト ゲーム 映画
DCR	画面の明暗に合わせて明るさが自動的に調整されます。 ※ ON に設定すると、[明るさ]、[コントラスト]は変更できません。	ON OFF
ブルーライトリデューサー	青色の発色をカットしブルーライトを軽減する機能です。	ON OFF

画像調節

アナログ入力信号の画像調整や画像比の設定を行うメニューです。

項目名	説明	設定値
水平位置	画面の水平位置を調整します。 ※ DisplayPort、HDMI、DVI 接続時は設定できません。	0 ~ 100
垂直位置	画面の垂直位置を調整します。 ※ DisplayPort、HDMI、DVI 接続時は設定できません。	0 ~ 100
水平サイズ	画面にちらつき、にじみが表示される場合に調整します。 ※ DisplayPort、HDMI、DVI 接続時は設定できません。	0 ~ 100
位相	画面に縦縞やちらつき、にじみが表示される場合に画面の位相を調整します。 ※ DisplayPort、HDMI、DVI 接続時は設定できません。	0 ~ 100
画像比	画面の解像度に関わらず、アスペクト比（縦横比）を固定したまま拡大表示できます。	ワイド 4:3 自動

色設定

色温度やプリセットモードの切り替えができるメニューです。

項目名	説明	設定値
色設定	色温度の切り替えをします。	暖色 冷色 ユーザー設定
赤	画面全体の赤色レベルを調整します。 ※ [色設定]の[ユーザー設定]を選択している場合に設定できません。	0 ~ 100
緑	画面全体の緑色レベルを調整します。 ※ [色設定]の[ユーザー設定]を選択している場合に設定できません。	0 ~ 100
青	画面全体の青色レベルを調整します。 ※ [色設定]の[ユーザー設定]を選択している場合に設定できません。	0 ~ 100

OSD 設定

OSD の表示設定ができるメニューです。

項目名	説明	設定値
言語	OSD メニューの表示言語を変更できます。	英語 フランス語 ドイツ語 中国語 イタリア語 スペイン語 ポルトガル語 トルコ語 ポーランド語 オランダ語 ロシア語 日本語
水平位置	OSD メニューを表示する位置を調整できます。	0 ~ 100
垂直位置	OSD メニューを表示する位置を調整できます。	0 ~ 100
OSD 時間設定	OSD 操作終了後に、OSD メニューが消えるまでの時間を調整します。	5 ~ 60
OSD 透明度	OSD メニューの透明度を調整できます。	0 ~ 100

リセット

設定値のリセットなどが行えるメニューです。

項目名	説明	設定値
自動調節	アナログ入力信号 (D-Sub) 接続時の画面位置や位相を自動的に調整します。 ※ DisplayPort、HDMI、DVI 接続時は設定できません。	-
ホワイトバランス	画面のホワイトバランスを調整します。正しく調整するためには、白単色の画面を表示させた状態でご使用ください。 ※ DisplayPort、HDMI、DVI 接続時は設定できません。	-
リセット	OSD の設定値を初期状態へ戻します。	-
自動電源オフ	1分間のスリープが続くと自動的に電源を OFF にします。	ON OFF
DP 互換モード	DisplayPort 接続時、ディスプレイの電源オフやスリープから復帰した際に意図しないウィンドウやアイコンの移動を防止する機能です。 ※ ディスプレイの電源オフやスリープ時、音声は出力されたままになります。	ON OFF

その他

ダイレクトキーの割り当てなどが変更できるメニューです。

項目名	説明	設定値
ダイレクト キー	ダイレクトキーの割り当てを変更できます。	ECO+DCR 明るさ+コントラスト 画像比+ECO 入力選択+音量
入力選択	画面に表示する映像信号を切り替えられます。	VGA DVI HDMI DP
ミュート	ミュート（消音）の切り替えができます。	ON OFF
音量	音量を調整できます。 ※ [音量]を 0 にすると、[ミュート]は自動的に ON になります。 ※ [音量]を 1 より大きくすると、[ミュート]は自動的に OFF になります。	0 ~ 100
オーバード ライブ	中間色の応答速度を向上させ動画のブレを軽減する機能です。	OD1 OD2 OFF

3. 便利なダイレクトキー機能

いくつかの設定は、OSDメニューを表示していない状態でも対応するボタンを押すことで直接メニューへ遷移したり実行することができます。

■ ダイレクトキー操作の一覧

項目	説明
ECO + DCR	△ ボタン：ECO の切り替え ▽ ボタン：DCR の ON / OFF
明るさ+コントラスト	△ ボタン：明るさの調整 ▽ ボタン：コントラストの調整
入力選択+音量	△ ボタン：入力選択の切り替え ▽ ボタン：音量の調整
自動調節	自動調節を実行します。 ※ダイレクトキーの割り当ては変更できません。 ※DisplayPort、HDMI、DVI 接続時は実行できません。

4. 用語集

用語	説明
OSD	オンスクリーンディスプレイの略で、画面上に液晶ディスプレイの設定画面を表示する機能です。
コントラスト	画面の白：黒の輝度比率です。
DCR	Dynamic Contrast Ratio の略称です。 映像の色合いに応じて、画面の輝度およびコントラスト値が自動調整されます。 暗いシーンでは画面が暗く、明るいシーンでは画面が明るくなります。
オーバードライブ	中間色の応答速度を引き上げ、動画の残像を軽減する機能です。
ブルーライト	人間が見ることのできる可視光のうち、約 380nm～500nm の範囲がブルーライトと呼ばれる波長領域です。

PRINCETON 株式会社プリンストン

本社〒 1 0 1 - 0 0 3 2 東京都千代田区岩本町 3 - 9 - 5 K.A.I. ビル 3 F

U R L : <https://www.princeton.co.jp>

本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。

本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。

本書では®™は明記しておりません。

本機器の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。

2022年1月 初版

Copyright © 2022 Princeton Ltd.